

# 清流

いつでもご連絡  
くださ〜い!



2010年 7月  
第6号

発行/勝部 俊徳 後援会事務所

発行責任者 勝部 俊徳  
(伯耆町議会議員)

〒689-4134  
鳥取県西伯郡伯耆町遠藤14番地

◆TEL:0859-68-3173

◆携帯:090-6415-9656

6月定例議会で私は、次の5点を質問しました。

- ①H21年度の決算見込みの状況と町財政にも、それなりの「ゆとり」が出てきたのではないのか。
- ②(旧)溝口町地域への「過疎地域自立促進特別措置法」(H22~H27)の施行は、溝口地区のみ皆さんの声をしっかり採り入れて計画策定を!  
※(旧)岸本町地域にも、同時に地域振興策を!
- ③八郷地区にも「公民館の新設設置」をすべきである!
- ④町道は、町として基本的には、町が維持管理の費用負担などをし、地元負担は、全廃すべきではないか。
- ⑤防火水槽、消火栓については、公共物、防災上の観点からも、町として設置、維持管理すべきではないか。  
……………(詳しくは、「議会だより」で)

## 平成22年度 一般会計補正予算(第1号)

- 歳入・歳出に各々18,000千円を追加し、総額66億4千8百万円とする。  
(多様な集落営農支援事業県補助金3,147千円、スポーツ振興事業団からの寄附金9,907千円など)
- 「町長交際費の公表(4月から)」、「入札結果の公表(10月から)」……町ホームページで情報公開。
- 町内行事予定の町ホームページ公表と充実。
- 工事予定の町ホームページ公表検討中。
- 第1次伯耆町総合計画(後期計画H23~H27)を「少子高齢化、人口減少、地域主権」などを中心に据えて、検討してゆく。
- (旧)大山高原ホテルの撤去・整備を環境省が実施。  
H22年度撤去、H23年度跡地整備(駐車場、休憩所、多目的広場、園路など)

## 岸本駅周辺整備事業のあらまし

- H23年3月末の完成を目指す。(工事費未定)
- 駐輪場、電動自転車の配備。
- 日交営業所を撤去し、新たな「待合所兼日交営業所」を新築する。
- 地域グリーン・ニューディール基金事業により「太陽光パネル+LED照明」を採り入れ、電動自転車の充電や駅の外灯に利用する。
- (旧)岸本町役場の建物の撤去。
- 岸本公民館のエレベーター新設や図書館整備、並びに老朽部分の改修を行う。  
(岸本公民館改修の見込み額は、2億3千万円程度。)

## 岸本駅周辺整備計画(素案)



“八郷地区に……「公民館の新設」を～!

●みんなが気楽にあつまり、ワイワイ元気に～!  
～みんなでおしゃべりやゆったり読書を～!

質問～!

伯耆町の公民館などのあり方は、現在どんな状況でしょうか? (伯耆町: A子)

◇ ◇ ◇ (回答者 大山 太郎)

太郎 そうですね～、いまは、次のとおりです。

- (旧) 溝口町地域 = 溝口公民館、二部公民館、日光公民館、文化センターがあり、それぞれに正職員、嘱託職員、臨時職員の配置がなされています。
- (旧) 岸本町地域 = 岸本公民館の一つに集約され、正職員等の配置となっています。

——米子市などでも旧町あるいは、旧村、校区などを基本として公民館が設置されて、活動されているので、八郷地区にも必要と思います、どうでしょうか? (A子)

太郎 合併してからは、やはり、「八郷地区に公民館」が、地域のみなさんの生きがいなどのために必要です!

(旧) 溝口町地域のみなさんの英知を集めて

……新たな過疎対策計画を!

「地場産業振興」や「保健・福祉の向上」……など、いろんな事業ができます!(過疎地域自立促進特別措置法)

……H22年度～H27年度の6年間

質問～!

(旧) 溝口地域に新たな過疎対策が計画されることとなったようですが、そのあらましを教えてください。(伯耆町: B子)

◇ ◇ ◇ (回答者 日野川 鮎子)

鮎子 「過疎地域」は、全国では、面積は約57%、そこに住む人は約8.8% (1,124万人)。

そこで、地域の自立促進を図る計画をH22～H27に実施し、そのためのお金も手当するという国の方針です。

——そのお金でどんなことができますか? (A子)

鮎子 そこに暮らすみなさんが、「元気で安心して暮らせる施設」をはじめ「地場産業を元気にする施設」や「交通手段の確保」など、いろんなことができます。溝口地区のみなさんの英知を～!

太郎 「雪球地球」「スノーボール・アース」って、どういうこと?  
鮎子 私もよくわからないけど、「ウイキペディア」(フリー百科事典)によると、こんな感じですよ。  
●二酸化炭素が地盤に固定され、温室効果が減少したことなどにより、地球表面の全体が凍結し、約一キロメートルの水床が地球を覆って、「スノーボール・アース」になってしまった……という仮説を一九九二年にカリフォルニア工科大学のジョー・カーシュヴィング教授が専門誌に発表したのが発端とされています。  
太郎 これまでは、地球は、マグマの灼熱状態から少しづつ冷え

こんにちは!

町政問答

清流



です! 大山 太郎 日野川 鮎子

町民のみなさまのお声をお伺いし、お届けすることが原点です!

て温暖と寒冷な気候を繰り返しながらきたと教えられたんですけどね。  
鮎子 そうよね、たしかに、そう考えられてきたみたいですね。  
太郎 じゃ、そのスノーボールアース仮説みたいに千メートル水に覆われたら、太陽エネルギーは、反射してしまい、永久に地球は氷漬けにならないのかなあ? 鮎子 それは、そのとおりだと思います。  
ところが、この凍結状態を脱出することとなったのも、火山活動による二酸化炭素などの「温暖化ガス」などの地球内部からの「温室効果」によって、地球表面の厚い氷を溶かしてゆくことができたのではないかと、ウイキペディアには載っていました。  
太郎 へえ、じゃ、二酸化炭素もいまの地球の存在には、大いに関係あるんだね。  
鮎子 いまは、そのメタンや二酸化炭素のあり方が、地球の温暖化の問題になってるわね。  
太郎 国の仕事も、町の仕事も凍りついたら困るよね。  
鮎子 そうよね。「人」も「お金」も凍りついたらダメ! ……みんなで、地域を熱く盛り上げましょう!